

図書館だより

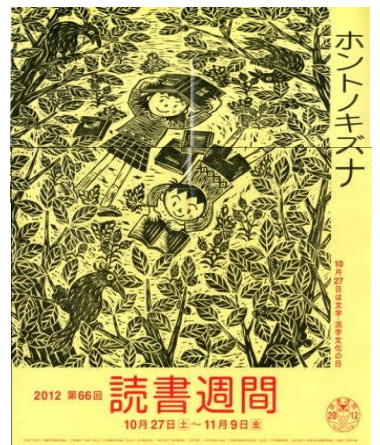
金沢市立朝日小学校図書館
2012年 11月

まだまだ読書の秋

読書週間は、11月9日までですが、ようやく読書にぴったりの季節となり、読書の秋は、これからが本番という気がします。ところで、読書月間の目標には近づいていますか。

目標は	1年	20さつ
	4年	15さつ
	5・6年	10さつ

ノーベル賞受賞の山中伸弥教授は、子どものころスポーツ少年でしたが、よく読書もしました。数学や理科の好きな山中少年は、SFや科学読み物が好きでした。星新一のショートショート意外な結末がおもしろくて読みふけりました。また、『地球の科学』のシリーズ(NHKブックス)ではこんな世界があるのかと興奮しました。そのころから研究者へあこがれは人一倍強かったそうです。『山中伸弥先生に、人生とiPS細胞についてきてみた』(講談社)より

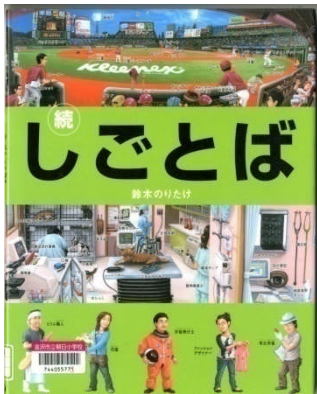


新しい本は、楽しいものが多いね。全部読もうと。

ホントノキズナ(本の絆)はできましたか。どんなにすばらしい名作でも、パラパラとページをめくるだけで終わっては、その本の良さはわからず、あなたの脳は育ちません。ページ数の少ない絵本でも何度も読みたくなる本は、きっとあなたの心にたくさんのものを伝えていると思います。

11月 おすすめの本

新しい本が入りました。今回は、楽しい絵本や読み物が中心です。シリーズのものもありますので、次々と読んでください。なかでも司書のおすすめは、この5さつです。ぜひ読んでください。



続しごとば

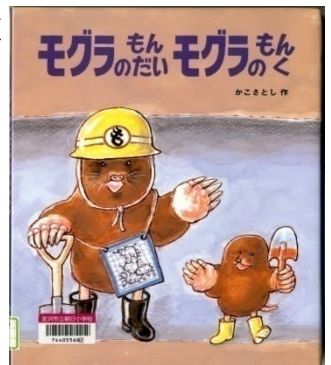
鈴木のりたけ・作 (ブロンズ新社)

いろいろな仕事を絵で紹介している本です。使う道具やまわりの様子(しごとば)がよくわかります。4さつのシリーズで、4さつめは東京スカイツリーです。将来やりたいことが見えてきます。絵本だけれど6年生にもおすすめです。

モグラのもんだいモグラのもんく

かこ さとし・作 (福音館書店)

科学読み物の名作です。「わしはモグラじゃ。・・・わしのとしは2さい。人間のひょうばんはわるくても、わたち、土の中で生活するものには、このずんぐりした形が「最高」なのじゃ。」こんなおもしろい表現にひかれてどんどん読めます。内容はかなり専門的。4年生の教科書に紹介されています。



この人を見よ！
歴史をつかった人びと伝16
宮沢賢治 (ポプラ社)

6年生には今ぴったりの本です。美しく不思議な物語を世に残した宮沢賢治。物語はちょっとむずかしいけれど、この本はわかりやすく賢治の一生を伝えてくれます。このシリーズは、全20巻で、織田信長から本田宗一郎までは幅広く、まんがで始まり、時代背景、ターニングポイントとわかりやすいです。学習まんがを卒業したい人におすすめです。



杉原千畝物語

命のピザをありがとう

杉原幸子・杉原弘樹・著 (フォア文庫)

杉原さんは、外務省の命令にそむいて自分の意志で日本通過のピザを発給し続け、6千人のユダヤ人の命を救いました。ユダヤ人の子孫は、今でも「命の恩人」と感謝しているそうです。この本は5年生の教科書に紹介されています。文庫本なので持ち運びに便利です。



ぼくらのC(クリーン)計画

宗田理・作 (角川つばさ文庫)

「ぼくらの…」シリーズの1さつ。中学1年の男子が主人公で、「ぼくらは、悪い大人をやつける！」という内容が他校でも人気のシリーズです。

